

## 絵本の読み聞かせ

10月3日(土)、読み聞かせフェア(町子ども読書活動推進協議会主催)が国際交流会館ホールで開催され、「じゅげむ」、「お化け屋敷へようこそ」などの絵本作家・川端誠さんの絵本ライブと講演会が行われました。

読み聞かせフェアには、町内の園児や小学生、保護者など約130人が参加。絵本ライブでは、「りんごです」や「あっぱれアスパラ郎」などの絵本の読み聞かせを行うと、川端さんのおもしろおかしい読み方に子どもたちが大笑いしていました。その後の講演会では、絵本「槍ヶ岳山頂」の製作過程を披露。川端さんは「ページをすぐ開くのではなく、セリフを何回か繰り返して読んだ方がいい」と読み聞かせのコツを教えていました。



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場総務課まちづくり班(内線264)までお知らせください。



△子どもたちに絵本の読み聞かせをする川端さん(右)

## 青天の霹靂を試食

県産米初の「特A」評価を獲得した新品種「青天の霹靂」の試食会が10月6日(火)、亀田集会所で開催されました。試食会では、5kgの新米がおにぎりにしてふるまわれ、参加者たちは、「粘りがあって柔らかい」「風味がある」と新米の出来栄に舌鼓を打っていました。

お米は、齋藤博文さん(亀田)が耕作する水田の内の1.1haで作付けされたもの。5月8日に田植えを行い、4か月後の9月8日に県内のトップを切って収穫が行われました。

齋藤さんは、「これから(「青天の霹靂」を)食べる皆さんにも新品種のお米の味を楽しんでほしい」と笑顔を見せていました。



△「青天の霹靂」のおにぎりを食べる参加者



## 結婚50年の夫婦を祝福

10月9日（金）、国際交流会館ホールで平成27年度の金婚式が開かれ、結婚50年を迎えた町内に住む16組の夫婦が出席しました。

相川町長は「喜びも苦労も一緒に重ねられた皆さまのご労苦に感謝します。今後も長生きされ、充実した人生を過ごしていただきたい」と祝辞。出席された夫婦へ顕彰状と、記念品としてお茶碗と湯飲みの睦揃えが贈られました。

顕彰者代表で、妻のチカ子さんと謝辞を述べた寺山清藏さんは「50年の長い間、私のわがままを聞いてくれた妻に感謝している。これからは妻に恩返しをしながら、夫婦共々健康で長生きしていきたいですね」と笑顔で話していました。



△顕彰状を贈呈される寺山清藏さん・チカ子さん夫婦（右）

## 里山探検で自然を満喫

10月10日（土）、「ちょこっと里山探検ウォーク」が開催され、参加した子どもたちが津軽富士見湖周辺に設置されたスタンプを集めながら里山の自然を満喫していました。

イベントは、コース内に設置されたマスコットキャラクター「つるりん」の看板を探しながらスタンプを集めるもの。スタンプをすべて集めると、記念品のバッジと道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」で使えるソフトクリーム無料券と交換できます。コースは「日本一長い木の三連太鼓橋「鶴の舞橋」を渡るコース」、「津軽富士見湖を一望できる高山スキー場へのコース」、「森の中の探検コース」などがあり、コースを巡る時間は約60～90分。里山探検ウォークは11月30日まで行われます。



△つるりんの看板を探してスタンプを押す子どもたち

## 地図とコンパスで自然を走る

10月10日（土）、11日（日）、青い森鶴の里2 Daysオリエンテーリング大会（県オリエンテーリング協会主催）が弘前公園（弘前市）と当町の富士見湖パーク周辺で開催されました。

オリエンテーリングは、地図とコンパスを使って大自然を駆け巡り、チェックポイントを辿るスポーツ。大会では、全国から参加した約120人の選手たちがチェックポイントを探しながら、ゴールまでのタイムを競いました。

神奈川県川崎市から参加した元日本代表選手の渡辺円香さんは「鶴の舞橋を渡ったり、鶴の鳴き声を聞いて里山の自然を満喫しながら走れた」と話していました。



△チェックポイントを通過しゴールを目指す選手